

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0190400127		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター八軒東(はまなす)		
所在地	札幌市西区八軒7条東5丁目4-45		
自己評価作成日	令和6年2月1日	評価結果市町村受理日	令和6年3月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyvoyoCd=0190400127-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	札幌市北区麻生町3丁目5の5 芝生のアパートSK103
訪問調査日	令和6年2月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の一人一人の思いを大切に地域の中で家庭的な環境の下、お互いに支え合える繋がりを大切にし、安心した穏やかな暮らしを支援支援できるように職員一丸となり一人一人の入居者様の日々の変化を情報共有し介護計画に反映し安心して過ごせるような施設作りを心掛けています。5月よりコロナ感染は終息はしていないものの五類へと変更になり面会も緩和はされた中で、拠点としても対面面会を時間制限をしながらの実施を感染対策を行いながら実施しています。頻りに来訪できない御家族様もいらっしゃる為、毎月のお便りでお一人お一人の写真を掲載し近況報告をし生活の様子が目で見える形で伝えられるよう工夫をしています。季節感を感じられるよう、施設内の飾りつけや食事の献立にも工夫をし、季節ごとの行事で楽しんで頂けるよう工夫しています。また介護度が高く意思疎通、コミュニケーションが困難な入居者様が多く身体的機能の維持、穏やかに過ごせるような支援を心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所はJR八軒駅や札幌競馬場に程近い閑静な住宅街に立地している。近隣にはスーパーや病院、飲食店が立ち並ぶなど、交通の便にも恵まれている。1階、2階に各ユニットを有する2ユニットの事業所である。建物周辺に広い畑を有し、町内会の方の応援も得ながら利用者と一緒にトマトやきゅうり、大根等の植え付けから収穫までを楽しんでいる。介護度の高い利用者への「心穏やかに落ち着いて過ごせる雰囲気作り」の理念のもと家庭的な支援を目指して、ベテラン職員を中心に取り組んでいる。毎月の「はまなす・すずらん通信」で一人ひとりの顔写真とコメントを付けて、家族に送付している。月2回の協力医の訪問や週2回、歯科医による訪問診療の他に週1回、看護師による健康管理を行っている。共用空間のリビングで日中のほとんどを過ごす利用者や居室内で談笑するなど穏やかに生活している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに ○ 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている ○ 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が ○ 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが ○ 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が ○ 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域の中でお互い支えあうつながり」を大切に安心した穏やかな暮らしを支援できるよう努めています。	ホーム理念と各ユニット毎の理念をリビング入り口に掲示し、理念である「一人ひとりの思いを大切に穏やかな暮らし」を支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入をし町内会行事に可能な限り参加をし地域の一員として交流をしたり防災訓練などで地域の方の協力をお願いし交流を図っています。	町内会に加入し、地域住民の支援を得て、避難訓練を行うなど交流している。本年1月開催の新年会行事に参加し、町内会と連携している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じ地域の方々に認知症の方を理解してもらい役立つことがないか話し合いをし取り組んでいます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎にホーム運営状況を報告すると共ににその場で議題にあがったことも話し合い、今後の運営に活かしていけるように取り組んでいます。	2ヶ月毎に町内会会長、地域包括支援センター職員、入居者、近隣マンション入居者が出席し、対面で開催している。入居者の状況、事故・ヒヤリハット、職員研修の内容等を報告して、そこでの意見等をサービスに活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月ホームの状況を市の介護課の報告を行い、また区の管理者会議に積極的に参加をし情報交換を行っています。	市担当者とは入居情報や申請、相談等を行うなど日頃から連絡を取り合っている。西区内主催の管理者会議で、対面、電話やメール等を活用して情報交換している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての理解を深める為、勉強会をホーム会議などに取り入れ職員一人一人の意識を高めケアに取り組んでいます。	身体拘束廃止委員会を毎月行っている。年2回と新人入職時に研修を行い、禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待マニュアルに基づいてホーム内研修の参加を促すことを行っています。		

ニチイケアセンター八軒東(はまなす)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ホーム内研修で制度の理解を深める努力をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に理解、納得をして頂ける様、十分な説明を行う為にお時間を頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を通して家族への意見を聞きだしています。また来訪時に意見、要望等がないか都度対応をしています。	毎月の個別毎、顔写真入り「はまなす・すずらん」通信で家族からの意見等を聞いている。来訪時や電話連絡の際にも要望等を把握して運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的な面談やホーム会議での話し合いを行い反映させる機会を設けています。	申し送り時に法人からの指示等を伝えている。職員からの意見や提案等はユニット・ホーム会議で話し合う他個別でも対応して運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の評価を行うと共にその職員の状況把握に努め、職場環境、整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	随時、法人内外の研修を促し紹介しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	西区グループホーム連合会に参加をし同業者との交流を図り、活用しサービスの質の向上に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前から御家族及びご本人のヒアリングを徹底しアセスメントを十分に行い入居後も環境の変化など心理的症状を理解し不安の軽減を行うよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様にも自拠点の現状を理解していただけるよう努め、不安や質問を受け入れるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今、必要なケアを随時遂行できるように本人、ご本人、御家族の話しを聞き支援するよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭環境の下、できる事、できない事、を理解しお互い支えあう暮らしを遅れるよう関係を築いています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の暮らしの様子を随時報告し一緒に過ごす時間を大切に、良い関係が築いていけるよう支援をしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みのものがある生活環境を整え、御家族様にも理解をいただき、なるべく以前の生活と変わりなく過ごしていただくよう支援に努めている。	月1回の訪問理美容や週1~2回の訪問マッサージで馴染みの人との関係を大切にしている。通院などの外出時に車から自宅を見るなど関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同生活が基本の為、コミュニケーションが上手くとれない方には職員が介入をし孤立せずにお互い支えあえるような関係構築に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的な係りを必要としている利用者や家族には関係性を大切にしよう努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日のコミュニケーションや身体状況の変化によって現状受け止め、希望や意向の把握に努めています。	日常のケアを通して利用者の思いや意向を把握している。懐メロや演歌等を聞きながら話しやすい雰囲気のもと本人の希望等を聞いている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用しアセスメントを行い、また随時家族や友人にも生活歴や馴染みの暮らしを聞いて把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録を通して1日の流れ、過ごし方等、現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメント、モニタリング、カンファレンスを繰り返し、御家族も含めてサービスに関わる全ての人がご本人の能力を最大限に発揮できる介護計画を作成するよう努めています。	介護計画は管理者とケアマネジャーが中心になり、担当者がモニタリングを行い、スタッフのアセスメントの結果と介護記録、本人や家族、職員の意見を反映して3ヶ月毎に見直している。変化時には都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、状態を介護記録、管理日誌に残し介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人や、御家族の今のある希望、要望を最優先に考え柔軟な支援を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人の能力に合わせて地域ボランティア等を活用し支援をおこなっていきます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にご本人や家族の希望を優先していますが、ホームの提携医による往診が主になっています。	本人や家族の希望により、かかりつけ医を支援している。協力医による月2回の訪問、週2回の歯科医による訪問診療を行っている。週1回2名の訪問看護師による健康管理を行っている。	

ニチイケアセンター八軒東(はまなす)

自己評価	外部評価	項目	外部評価		
			自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週木曜日に訪問看護師が来訪し、健康チェックを行って頂いています。その他、特変時のアドバイスを頂き日々の健康管理に活かしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時や退院時には病院のSW、相談員と連携を図り情報共有のもと入退院をスムーズに行える関係づくりをしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合における対応に係る指針を開示し早い段階で本人や家族と話し合い主治医を含め話し合いを円滑に行う為に取り組んでいます。	契約時に重度化した場合の指針を本人及び家族に説明し、同意を得ている。胃ろう等常時の医療体制は困難であるが本人・家族、医師と話し合い、管理者とケアマネジャー、職員がチームで対応している。昨年3人の看取りを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修等で知識を身につけ、緊急マニュアルにそって対応をしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を年2回開催し地域のひと協力しながら全職員が周知できるように努めています。	昨年5月に地震による防災訓練を兼ねた日中想定火災避難訓練、11月に夜間想定避難訓練を行っている。事業継続計画を作成している。飲料水、食料、発電機、感染症対策用品を備蓄している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の取り扱い方法や言葉使い。対応の勉強会をおこなったり、職員がお互い注意できるような環境作りをしています。	年2回接遇についての研修会を行い、個人情報の取り扱い、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけ、対応の仕方等を学び法人に実施報告をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の意思を聞き取りやすい声掛けを行い気持ちを引き出せるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調を見極め、ご本人のペースで過ごして頂けるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしやれの支援 その人らしい身だしなみやおしやれができるように支援している	起床時、入浴後、就寝時、その人らしい身だしなみができるよう支援しています。		

ニチイケアセンター八軒東(はまなす)

自己評価	外部評価	項目	自己評価			外部評価		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	咀嚼状況や嚥下状況を考慮し食欲をそそる見た目も重視し提供しています。入居様それぞれの能力を見極め、食事の準備や片付け等をして頂いています。	メニューは献立委員が作成し、職員が調理している。行事食は外注による生チラシや幕の内弁当をきざみ食等にして提供している。正月にはおせち料理を出したり、誕生日にはケーキで祝っている。				
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分を記録に残し変化がないか状況観察、情報共有し一人一人の適切な食事量を見極め支援しています。					
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実施。週に1度歯科往診により治療、相談、助言を頂いています。					
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様それぞれ排泄パターンを把握し、変化があった時は情報共有し一人一人にあった排泄の支援を行っています。	排泄チェック表を基に声掛けや手での合図で誘導している。自尊心や羞恥心に配慮しながらトイレで排泄ができるよう見守り支援をしている。				
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	定期的な日々の体操、ヨーグルトやヤクルトなど乳製品を提供し予防に努めています。					
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本週2回での入浴を行っていますが、ご本人の体調、希望を聞き個々にあった支援が行えるよう努めています。	入浴は週2回、午前中を基本に行っているが利用者の体調や希望に添って支援している。拒否の利用者には足湯等で対応している。				
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人にあった生活習慣を見極め休息できる環境を整えています。また入居者様の体調を見て休息を促し支援をしています。					
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬マニュアルに沿って支援をしています。服薬に変更があった時は周知して入居者様一人一人の薬の把握に努めています。誤薬のないようダブルチェックを行っています。					
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の嗜好に合わせたレクリエーションを工夫し楽しんで頂ける様に支援をしています。					

ニチイケアセンター八軒東(はまなす)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候、体調、気分を考慮し散歩をしたり、お庭に出たり、御家族様の協力を頂きながら支援をしています。	好天時には建物周辺の散歩、庭に出での日光浴、アイスクリームや畑で取れた新鮮なトマト等を喫食して楽しんでいる。家族の協力を得て外出による買い物や帰宅支援をしている。	続く感染予防対策や対応職員の制限など利用者の外出支援に苦慮しているが家族の応援も受けながら多くの利用者が外出出来るよう期待したい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	運営上個別での金銭所持は原則として行っていませんが、希望に合わせて入居者様、御家族と相談の上で対応しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族様のご理解の下、入居者様の希望があった際に電話対応、手紙の支援を行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下や居間に季節ごとの飾りをしたり、共有の空間は明るく適度な温度で穏やかに過ごせるよう心がけています。	共用空間は窓からの陽ざしが入り、明るく広い。利用者は日中ほとんどリビングで過ごしている。加湿器、空気清浄機、エアコンが設備され、湿度、温度の調節を行っている。午後からは体操やレクリエーションをしたり、テレビ鑑賞、談笑等思い思いに居心地よく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の中、日々の入居者様の発言、しぐさ等に耳を傾け座席変更するなど安心して暮らせるような環境作りをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の使い慣れたものや好みのものがお部屋にあるよう御家族様に御理解と協力のもと居心地良く過ごせるような工夫をしています。	居室内にはクローゼット、照明器具、カーテンが常設されている。利用者の使い慣れた家具等を持ち込み、思い出の写真等を飾るなどして居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様一人一人のお部屋がわかる様に表札を作り、トイレも目立つように工夫をしています。		